

くわな市議会だより

平成25年3月定例会号

第5号

発行日 平成25年6月15日

「たけのこ」

桑名市は東海地方でも有数のたけのこの産地です。古くから竹林が多く、なかでも播磨、深谷、多度地区では、たけのこの栽培が盛んに行われてきました。

桑名の竹は孟宗竹という種類で、たけのこは大きく肉厚で、柔らかく、甘みがあるのが特長です。特に新鮮なものであれば、生や軽く湯がくだけで刺身や焼き物として風味を最大限味わうことができます。このほか、煮物や揚げ物、たけのこご飯等、様々な料理に使用されます。出荷先は中京市場を中心として北陸や甲信越地方にも出て行きます。時期は、2月中頃からゴールデンウィーク頃の約3ヶ月間で、時期により大きさや味、食感も変わります。

目次

- 01 表紙
- 02 平成25年度予算紹介
- 03 3月定例会の概要
- 04 総務政策委員会の概要
- 05 福祉安全委員会の概要
- 06 教育経済委員会の概要

- 07 建設水道委員会の概要
- 08 新病院の整備等に関する特別委員会の概要/
教えて!これ何?
- 09 代表質疑
- 10 代表質疑・議案質疑
- 11 議案質疑・一般質問

- 12 一般質問
- 13 一般質問
- 14 桑名市議会からのお知らせ/
議会活動状況報告

平成25年度当初予算が決まりました

※百万円未満切捨て

一般会計	441億3,900万円	前年比1.0%減
特別会計	254億7,900万円	前年比7.1%増
企業会計	96億2,300万円	前年比10.4%減
総 額	792億4,200万円	前年比0.1%増

主な重点事業

※百万円未満切捨て

- 新病院整備事業関係費 15億2,500万円(特別会計含む)
- 本庁舎耐震補強事業費 8億4,200万円
- (仮称)城南地区防災センター建設事業費 7,400万円
- 陽だまりの丘複合施設整備費 3億 100万円
- 北勢線運営支援事業費 1億 300万円



財政健全度データ

※百万円未満切捨て

市債残高	965億8,000万円
財政調整基金	20億4,000万円
自主財源	262億8,100万円(59.5%)
依存財源	178億5,700万円(40.5%)

一般会計の目的別内訳



用語解説

一般会計

市民からの税金を主財源に福祉、教育、建設など主要な行政運営に使う予算。使い道が自由に決められる。

特別会計

介護保険や国民健康保険など特定の目的のみで独立した予算。

企業会計

独立採算の水道事業などの予算。

民生費

福祉や子育て支援、生活保護などに使う。

土木費

道路や公園の建設や維持管理に使う。

総務費

企画や広報業務、住民票の発行など市民サービスに使う。

衛生費

ごみ処理や予防接種など公衆衛生に使う。

公債費

市の借金にあたる市債の返還にあてる。

市債

財源不足を補うため、複数年かけて返済する債務。市の借金。

財政調整基金

急な財源不足の際に取り崩せるよう余裕のある年に積み立てておく市の貯金。

自主財源

税金や施設使用料などの市が自ら確保できる予算。

依存財源

国や県からの配分金や地方債。

3月定例会の概要

2月27日から3月22日までの24日間の日程で開催しました。

今定例会では、「平成25年度桑名市一般会計予算」のほか国民健康保険などの特別会計予算、水道事業会計予算、「桑名市陽だまりの丘複合施設条例の制定」や「平成24年度一般会計補正予算(第6号)」など45議案を審議し、いずれも可決しました。このほか、副市長等の人事案件(追加議案)2件に同意しました。

また、「桑名市土地開発公社の経営状況に関する書類の提出について」など5件の報告がありました。

議員提出議案としては「桑名市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正について」など5議案を可決しました。

平成25年3月定例会主な表決結果

(市長提出議案47件、報告5件、議員提出議案5件)

区分	番号	件 名	賛成	反対	出席
市長提出議案	第1号	平成25年度桑名市一般会計予算	26	3	0
	第2号	平成25年度桑名市国民健康保険事業特別会計予算	26	2	1
	第3号	平成25年度桑名市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	26	2	1
	第4号	平成25年度桑名市市営駐車場事業特別会計予算	26	2	1
	第5号	平成25年度桑名市農業集落排水事業特別会計予算	26	2	1
	第6号	平成25年度桑名市介護保険事業特別会計予算	26	2	1
	第7号	平成25年度桑名市後期高齢者医療事業特別会計予算	26	2	1
	第8号	平成25年度桑名市地方独立行政法人桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業特別会計予算	26	2	1
	第9号	平成25年度桑名市水道事業会計予算	22	7	0
	第10号	平成25年度桑名市下水道事業会計予算	22	7	0
	第11号	桑名市公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例の一部改正について	26	2	1
	第13号	障害者自立支援法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	26	2	1
	第14号	桑名市委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	26	2	1
	第15号	桑名市長及び副市長等の給与の特例に関する条例の制定について	23	6	0
	第16号	桑名市職員退職手当支給条例等の一部改正について	23	6	0
	第17号	桑名市長島町下水道整備基金条例の一部改正について	26	2	1
	第19号	桑名市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部改正について	26	3	0
	第20号	桑名市道路の構造の技術的基準等を定める条例の制定について	26	3	0
	第21号	桑名市準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定について	26	2	1
	第23号	桑名市営住宅等の整備基準に関する条例の制定について	26	2	1
	第24号	桑名市営住宅管理条例の一部改正について	26	2	1
	第25号	桑名市都市公園条例の一部改正について	26	2	1
	第26号	桑名市陽だまりの丘複合施設条例の制定について	28	1	0
	第27号	桑名市陽だまりの丘生涯学習交流センター条例の制定について	21	8	0
	第28号	桑名市水道事業給水条例の一部改正について	22	7	0
	第29号	桑名市水道事業施設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の制定について	26	2	1
	第30号	桑名市公共下水道の構造の技術上の基準等を定める条例の制定について	26	2	1
	第31号	桑名市下水道条例の一部改正について	22	7	0
	第33号	桑名市障害者介護給付費等の支給に関する審査会共同設置規約の一部を変更することについて	26	2	1
	第35号	市道の認定について	28	1	0
	第36号	平成24年度桑名市一般会計補正予算(第6号)	26	3	0
	第37号	平成24年度桑名市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	26	3	0
	第46号	副市長の選任につき同意を求めるについて(伊藤敬三氏)	15	13	1
	第47号	副市長の選任につき同意を求めるについて(田中謙一氏)	25	3	1

※全会一致で可決された議案等は省略しています。 ※議長は採決に加わりません。

※議員別表決結果は桑名市議会ホームページをご参照ください。

■審査案件 委員会開催日 3月12日・14日(審査件数:9件)

- 議案第 1号 平成25年度桑名市一般会計予算 所管部門
- 議案第11号 桑名市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例の一部改正について
- 議案第12号 桑名市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正について
- 議案第13号 障害者自立支援法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
- 議案第14号 桑名市委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
- 議案第15号 桑名市長及び副市長等の給与の特例に関する条例の制定について
- 議案第16号 桑名市職員退職手当支給条例等の一部改正について
- 議案第32号 三重県市町総合事務組合規約の変更に関する協議について
- 議案第36号 平成24年度桑名市一般会計補正予算(第6号) 所管部門

主な質疑

平成25年度一般会計予算の所管部門に対する質疑

◆臨時財政対策債の発行について

Q 市長の議員時代の発言を踏まえ、前年度と同額(25億円)の予算計上についての所見は。

A 臨時財政対策債については、今でも借金であるという認識を持っており、できる限り抑制していきたいという気持ちは今でも変わっていない。しかし、社会保障関係経費が増大していることや財政調整基金の確保が困難であることは、予算を作りながら実感したところでもある。予算編成に当たっては、何とか少しずつでもという気持ちを持って対応してきたつもりでもあり、この点についてはしっかりと抑制していきたい。

Q 今後、臨時財政対策債を抑制していきたいという思いの中で、歳出のどの部分を削減していこうと考えているのか。

A 様々な行政改革、特に補助金の見直しをしっかりと進めていきたいと考えている。

◆不動産売却収入について

Q 歳入として5,000万円計上されているが、どの場所を予定しているのか。

A 新西方コミュニティセンター西側の宅地と青葉町の市営住宅跡地を予定している。

◆多度町・長島町総合支所について

Q 合併後8年が経過しており、本庁との一本化を含めた今後の方向性は。

A 大きく2点あり、一つは、地域の方の声がしっかりと届く仕組みが必要であること、もう一つは、公共施設を様々な形でマネジメントしていく必要があるということである。これらの観点を踏まえ考えていきたい。

◆ケーブルテレビ桑名市だよりについて

Q 番組の制作や放映を長年継続しているが、どのような評価をしているのか。

A ケーブルテレビの加入者数は少し減っているが、ユーチューブへの掲載を行うなど、多くの方に見ていただけるよう工夫している。

◆常備消防費について

Q 消火栓・防火水槽維持補修費の具体的な内容は。

A 消火栓・防火水槽の表示ラ

インの修繕130箇所と、既設消火栓の腐食ボルト交換等の維持補修23箇所を見込んでいます。

◆桑名市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例の一部改正に対する質疑

Q 指定管理者選定委員会の委員は10人以内で組織する必要があるが、どのような方が選定されているのか。

A 委員構成については施設によつて様々であるが、学識経験者として、大学の先生や公認会計士、弁護士などを入れて選定委員会の運営を行っていることは共通している。

◆桑名市長及び副市長等の給与の特例に関する条例の制定に対する質疑

Q 市長の給料月額20%減額の根拠は。

A 他市の事例等を考慮するとともに、自ら身を切るところからスタートしていきなさいという思いから20%が妥当と判断したところである。



■審査案件 委員会開催日:3月12・14日(審査件数:12件)

- 議案第 1号 平成25年度桑名市一般会計予算 所管部門
 - 議案第 2号 平成25年度桑名市国民健康保険事業特別会計予算
 - 議案第 3号 平成25年度桑名市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算
 - 議案第 6号 平成25年度桑名市介護保険事業特別会計予算
 - 議案第 7号 平成25年度桑名市後期高齢者医療事業特別会計予算
 - 議案第18号 桑名市子育て支援拠点施設条例の一部改正について
 - 議案第33号 桑名障害者介護給付費等の支給に関する審査会共同設置規約の一部を変更することについて
 - 議案第36号 平成24年度桑名市一般会計補正予算(第6号) 所管部門
 - 議案第37号 平成24年度桑名市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
 - 議案第41号 平成24年度桑名市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
- ほか2議案



簡易トイレ目隠し保護員

主な質疑

平成25年度一般会計予算の所管部門に対する質疑

◆備蓄用物資購入費について

Q 備蓄用物資の整備状況はどうなっているのか。また、どのように整備していくのか。

A 乾パン、アルファ米、アレルギー対策米などの食料を各小学校、中学校、公民館等に約4万3,900食分備蓄しており、現状維持ないし増やしていきたい。食糧以外では、資機材の維持補修のほか、簡易目隠しトイレ、間仕切り板、プライバシーフィルム、充電式ライトなどを平成23年度からの5年計画で、小・中学校から7校ずつ順次整備を進めたい。

◆シルバー人材センター運営助成費について

Q 一部の事業で民業を圧迫していると考えられている。指導が必要なのではないか。

Q 退職されてから働く場所として重要である。行政としてはどのように考えているのか。

A シルバー人材センターが受託する業務は臨時的、短期的なもので、労働条件の制約もある。民間事業者とはうまく共存されるようシルバー人材センター側にはお話ししている。

◆健康増進施設費について

Q 予算額ゼロだが、今後、補正予算で計上されてくるのか。車椅子等の管理費なども計上されていないが何故か。

A 今回は骨格予算ということで健康増進施設費は計上していない。敷地管理費については6月の肉付け予算で計上したい。また、事業に関するその他の経費は、庁内ワーキングを立ち上げて、その中でどのような取り扱うか協議もし、市長の判断も仰ぎながら最終決定していきたい。

平成25年度国民健康保険事業特別会計予算に対する質疑

Q 特定健康診査等事業費について、受診率の向上に向け、意義の啓発普及や受診助奨の徹底、健診データの活用による保健指導の推進を重点的に実施することだが、目標は設定しているのか。

A 国においては、市町村国保について、平成29年度までに特定健診の受診率を60%、特定保健指導の実施率を60%と目標を示している。桑名市においては、平成25年度は、特定健診の受診率を40%、特定保健指導の実施率を25%に目標設定し、それに向けて実施していく考えである。

平成25年度介護保険事業特別会計予算に対する質疑

Q 介護保険給付費を適正化し、保険料の負担を少なくできないか。

A 現在、給付費の適正化事業を行なっており、そこで給付費を抑える。あるいは、介護予防事業を充実させていく考えである。

■審査案件 委員会開催日:3月13日・15日(審査件数:6件)

- 議案第 1号 平成25年度桑名市一般会計予算 所管部門
- 議案第19号 桑名市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部改正について
- 議案第26号 桑名市陽だまりの丘複合施設条例の制定について
- 議案第27号 桑名市陽だまりの丘生涯学習交流センター条例の制定について
- 議案第34号 財産の無償貸付けについて
- 議案第36号 平成24年度桑名市一般会計補正予算(第6号) 所管部門



陽だまりの丘 複合施設「ほかほか」の完成予想図

主な質疑

平成25年度一般会計予算の所管部門に対する質疑

◆総務費について

Q 北勢線の支援の内容について

A 今年度をもって10年間の支援が終了した。しかし、新たに三岐鉄道から、自ら運行できないということで支援要請があった。そこで2市1町で協議を行い、最終的に3年間は支援をしていく。その後については、三岐鉄道の自助努力等を見て、仮に補助金等の要請があった場合は、考えていくことになる。

◆衛生費について

Q 埋立最終処分場の安全性について

A 埋立最終処分場への受け入れについては、市民の方から出る瓦礫(がれき)、土砂に限定している。基本的には周りに影響を与えるものは入っていない。基準に沿って環境測定等も行っている。

◆教育費について

Q 学力・教師力向上推進事業費に関して、Q-U(楽しい学

校生活を送るためのアンケート)の活用について。

A 5月ごろに1回目を実施し、分析結果が出た後、各学校・学級で課題を知り、学級の改善策を考えて取り組む。11月頃に2回目をし、改善状況を把握し次に繋げていくというPDCAサイクルで取り組んでいく。

Q 小学校英語活動推進事業に関して、平成23年度に新学習指導要綱で全面実施になっているが、今後、指導人員を増やす意向はないのか。

A 今のところ現状の人員で全小学校を回っており、要望に込んでいるのでこのまま行こうと思っている。

Q 桑名市陽だまりの丘生涯学習交流センター条例の制定に対する質疑

Q 生涯学習交流センターにおいて、市が直接行う講座はどれくらいあるのか。

A 平成25年度予定では、直営でやる講座として10数講座予定している。

平成24年度一般会計補正予算(第6号)の所管部門に対する質疑

◆農林水産業費について

Q 除塩用水事業に関して、長島町内の敷設管工事はなぜできなかったのか。

A 事業区域に水資源公団の敷設管があり、それにより本来の除塩管の敷設替えができなかった。

◆教育費について

Q 学校の安全管理対策関係で、今後の計画は。

A 校舎の屋上フェンスについて、津波による浸水が想定されるところで検討していきたい。



伊賀島小学校屋上フェンス

■審査案件 委員会開催日:3月13日・15日(審査件数:22件)

- 議案第 1号 平成25年度桑名市一般会計予算 所管部門
- 議案第 4号 平成25年度桑名市市営駐車場事業特別会計予算
- 議案第 5号 平成25年度桑名市農業集落排水事業特別会計予算
- 議案第 9号 平成25年度桑名市水道事業会計予算
- 議案第10号 平成25年度桑名市下水道事業会計予算
- 議案第20号 桑名市道路の構造の技術的基準等を定める条例の制定について
- 議案第21号 桑名市準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定について
- 議案第28号 桑名市水道事業給水条例の一部改正について
- 議案第31号 桑名市下水道条例の一部改正について
- 議案第36号 平成24年度桑名市一般会計補正予算(第6号) 所管部門
ほか12議案

主な質疑

平成25年度一般会計予算の所管部門に対する質疑

◆桑名駅東口北側階段の改修工事について

Q どのような改修をするのか。
A 数年前から老朽化が激しいため、踏み板を一段ずつ全て取り替えるもの。

平成25年度水道事業会計予算に対する質疑

Q 配水及び給水施設費の配水費調整事業費等の工事について、工事は何箇所まで災害対策は行っているか。
A 工事は敷設、敷設換え等で13本。耐震管を使用しており、NS管や水道用の配水管はポリエチレン管を敷設している。

平成25年度下水道事業会計予算に対する質疑

Q 受益者負担金平米当たり283円は少額であるが、繰出予算へはどのように充当されるか。
A 都市計画法に根拠があり、財源充当は、汚水施設整備事業に充当する。負担金額は、平成2年から現在の金額である。

Q 総合地震対策計画、地震対策や施設長寿命化実施の設計業務委託料は、どのような内容か。

A 総合地震対策は、平成21年度から実施しており、下水道総合地震対策事業と言う名称で、実施に当たっては、総合地震対策計画を策定して補助に位置づけしていくもの。この計画は、汚水管渠(かんきよ)、雨水管渠(かんきよ)、汚水ポンプ場、処理場と多岐に渡っているもので、それぞれに予算計上した。内容は下水道が最低限有すべき機能を保つよう耐震化することとを目的とする。

水道事業給水条例の一部改正に関する質疑

Q 料金改定に關して3ヶ月間の通知期間でなぜ7月からののか。

A 昨年3月策定の経営計画に基づき行うもの。経営計画は、ホームページで公開するとともに、広報10月1日号で概要をお知らせした。1月の地域審議会でも内容を説明し、3月3日には講演会を開催した。経営計画では、改定の主旨、改定率、時期を示している。これを1年かけて周知を進めてきた。

改正議決後は、具体的に個別の内容をご説明したい。

Q 大口径の方は、値上げが決まってから説明に行くのか。値上げ率が高いので、大変な負担になることも考えられる。

A 今までと同じ水量を使っていた分には、5.5%程度の値上げになる。ただし、季節変動、景気変動などで急激に減ることも想定される。現状でも口径に見合わない使用水量の方もいる。負担の公平性を考えながら、現在の使用水量と口径が見合わない方は、口径の変更も含めてご相談に乗りたいと考えている。

平成24年度一般会計補正予算(第6号)の所管部門に対する質疑

◆駅西土地地区画整理事業について
Q 暫定広場の整備は遅れるのか。

A 骨格予算で、執行が遅れるが工事等の発注に向けては早めに準備し、必要な工期は確保に努めたい。また、移転補償についても事前協議等を進めており、契約がスムーズに行えるよう努めていきたいが、移転は個人の事情により遅れることもあり、繰り越しが発生しないとは言えない。

■審査案件 委員会開催日:3月18日(審査件数:4件)

- 議案第 1号 平成25年度桑名市一般会計予算 所管部門
- 議案第 8号 平成25年度桑名市地方独立行政法人桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業特別会計予算
- 議案第36号 平成24年度桑名市一般会計補正予算(第6号) 所管部門
- 議案第43号 平成24年度桑名市地方独立行政法人桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業特別会計補正予算(第3号)



Q 法人に貸し付けた資金が一般会計に戻るよう、どこまで計画を詰めているのか。また、責任は誰が負うのか。

A 5年間の据置期間を含め30年で返還する計画である。地方独立行政法人法に基づき評価委員会を設置している。市も参加しながら、十分注意し見守っていきたい。また、経営責任については、別の法人格であり、法人を代表する理事長と考えている。

平成25年度一般会計予算の所管部門及び平成25年度地方独立行政法人桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業特別会計予算に対する質疑

主な質疑



これは、完成イメージであり、実際の建物とは異なります。

Q 平成27年4月の開業にこだわらず見直すほうがよい良きものになると考えており、このまま実施設計を随意契約することには納得できない。本当に急を要するのは桑名の医療をどうするのかであつて、建物が早く要るわけではない。市長の見解は。

A 桑名の医療を何とかしなくてはいいけないという思いは、全ての人が同じだと思ふ。地方独立行政法人としては、スケジュール面、法人のメリット、また、市民の方にとつて最良の方法として随意契約で進めたいのとこのことであり、私としても、平成27年4月に新病院をオープンしたいという思いで、今回は随意契約で進めたいと考えている。

教えて!これ何?



議長応接室



正副議長室

今回は、あまり知られていない正副議長室を紹介します。

この部屋は、議長、副議長が執務をするために設けられています。

ここで議会に関する決裁や打ち合わせ等を行っているほか、当局から説明を受けたり、来訪客等をお迎えしたりしています。また、正副議長室の隣には議長応接室があり、各派代表者会議や議会運営委員会などの会議が行われています。

代表質疑

希望

倉本 崇弘

◆学童保育所の保育料を月額8,000円に!

質疑 大胆に予算投入してでも早急に平成25年度からでも学童保育所の保育料を月額8,000円に引き下げることが働き盛りの共働き家庭の支援等につながり、まちの元気につながっていくと考えるがどうか?

答弁 政策・財政的な面からなにも優先的に、重点的に取り組んでいく事業かを見極める必要があると考える。平成25年度には保育料の引き下げに係る経費は計上していない。



桑風クラブ・無会派 佐藤 聖

◆市長就任2.5ヶ月の所見を問う

質疑 市議時代の「思い」と「現況」から財政健全化・行政改革・組織・人事・仕組み等について。

答弁 日も浅く急激な変化は困難だが、効率的な行政運営の実現に向け組織・仕組みづくりを行い、職員共々7つのビジョン達成に向け鋭意取り組む。

◆家庭用新エネルギー普及支援事業について

質疑 LED照明への取替促進施策は考えないか。

答弁 節電及び温室効果ガス削減に有効であり、他市の状況を踏まえ調査研究し検討する。

◆学校・園再編推進事業について

質疑 私立とのすり合わせは万全なのか。

答弁 保育園については市から委託しており、私立さんのご意見やパブリックコメント等再検討し、よりよい形で実施できるよう努める。

フォーラム新桑名 安藤 寛雅

◆市政運営の基本的な考え方について

質疑 市民との関係を市長はどの様に考えるのか。

答弁 市民の皆様の中に積極的に飛び込み、意見交換する。全員参加型市政では、市民の皆様は、行政サービスに対する受益者、権利者であると同時に、まちづくりに参加して一定の役割を担っていただく重要な存在と考える。

質疑 防災面での課題 北勢広域防災拠点についての経緯と広域避難施設について。

答弁 広域防災拠点施設は各種防災関係の機関が集結する場所として整備され一般的な避難施設としては想定していない中で、四日市市の2地区が候補となった。桑名市は、大規模災害発生時の受入先となる広域避難収容施設の整備を強く要望している。

新桑会 大橋 博二

◆桑名市総合医療センターについて

質疑 平成27年4月に1院体制でオープンする総合医療センターは、市民の安心安全を守る都市機能として大きなものがある。運営や建物整備ばかりでなく、桑名駅からのアクセス・防災等の都市機能強化の総合施策として位置付け事業推進が必要と考えるが。

答弁 駅のバリアフリー化やセンターまでの移動等の円滑化を図る必要はあり、関係機関と協議を進め2・3年を目処に結果を出したい。センター整備に伴う市の課題整理のため「新病院整備に向けた検討会議」を12月議会終了後開催した。部会も設置し課題の抽出・解決策等の検討を図っている。交通安全対策として周辺一帯を警察・関係者で協議し車の時速30キロに制限する「ゾーン30」が設置された。

代表質疑・議案質疑

公明党桑名市議員団 竹石 正徳

◆上下水道料金改定に伴う今後の見通し

質疑 料金改定による子育て家庭、高齢者世帯への経済的負担、また企業など地域経済への影響と、それに対する配慮について。

答弁 水道料金については、平均5.5%の値上げになる。契約の口径別基本料金制を導入する。一般的な家庭用の口径13mmと20mmは、基本料金を据え置き、市民生活への過度な影響への配慮をする。100㎡を超える大口需要家(企業)には、接続口径に見合った基本料金を配賦する一方で、従量料金については単価を据え置く。下水道料金については、平均12.9%の値上げになる。基本使用料及び、10㎡までの使用料単価は据え置く。上下水道ともに、一般家庭、高齢者世帯の経済的負担や、地域経済への影響に配慮したものである。

新自由クラブ

瀬邊 清司

◆市長の基本方針と4年間の抱負

質疑 平成25年度の事業・予算の中で、市政に対しての基本方針と4年間の抱負は。

答弁 全員参加型市政の構築には、市民の行政に対する信頼関係が不可欠と考え、「市長カフェ」や「どこでも市長室」を実施し、市民のもとへ出向き思いを伝えていく。このほか情報の透明性を高めていく。責任ある財政の取り組みについては、納税者の視点に立って、事業の見直しを図る。命を守るための取り組みについては、桑名市総合医療センターの整備に取り組む。医師確保につとめ、魅力的な病院を目指す。希望を持って生活できるよう環境整備につとめる。

桑風クラブ・無会派 南澤 幸美

◆桑名市総合医療センター整備について

質疑 平成25年度当初予算に関連予算が計上されているが、総事業費「106億円」以内で可能か。

答弁 新病院の整備に関しては、三重県地域医療再生計画(拡充分)で「106億円」の計画で国に提出している。整備を進める中で、この事業費を基本として取り組み、適切に対応していく。

◆有害鳥獣対策について

質疑 シカ・イノシシの捕獲実績を伺う。

答弁 平成24年度は、シカ20頭イノシシ80頭を捕獲した。平成25年度は、引き続き桑名猟友会に駆除をお願いする他、防止柵は地域の要望・協力により現在まで多度山麓に約8,500m設置した。平成25年度は約3,100mを設置する計画であり、多度山麓のほぼ全ての地域で柵の設置が完了する予定である。

日本共産党桑名市議員団 星野 公平

◆市政運営の基本的な考え方を問う

質疑 市民から信頼される行政の構築と風通しの良い組織づくりとは、具体的に何をするのか。

答弁 対話の機会を出来るだけ多く持ち、課題や思いを共有する事で、信頼関係が生まれ、より実情にあった市民サービスの提供ができるのではないかと。

質疑 納税者の視点で次の世代に責任の持てる財政とはどういう意味なのか。

答弁 納税者の視点に立って効果的な事業に活用する事が重要。サービスの提供側と受ける側の目線の他に、もう一つ、サービスの費用を負担しているのは誰なのかと言う目線が必要だ。この認識を持ち、事務・事業を進めるならば、税金の無駄づかいとなるような予算の使い方を防ぐことができ、それによって市民サービスを十分に維持できると考えている。

議案質疑・一般質問

桑名クラブ・無会派 伊藤 文一

◆副市長・教育長人事について

質問 副市長は2名体制か。教育長の公募は考えないのか。市長に伺う。

答弁 副市長は条例で定数2名以内とされ「総括」「特命」と分担し、この体制と考えている。教育長公募は、今のところ考えてはいないが、教育委員会制度の趣旨・理念を踏まえた方の選任と考えている。

◆就学前施設再編実施計画について

質問 公立幼稚園の再編計画に伴う所見を伺う。

答弁 少子化や保護者の就労形態の変化等により、園児数減少による休園が出る等、子ども達の育ちを十分に保障できない状況にある。生活圏を考慮し、第1段階として中学校ブロックを単位として幼保一元化の認定子ども園を含め11園に再編する計画である。公立私立を問わず小学校の連携を重視したい。

新自由クラブ

倉田 明子

◆男女共同参画推進事業について

質問 202030(指導的地位に女性が占める割合を2020年までに30%を目指す)という全国的な取り組みがあるが、進捗状況を伺う。

答弁 市は24.9%。全国平均は27.6%、三重県内29市町の平均は27.2%で、平均を下回っているのが現実。審議会等のあり方を見直し、早期に目標を達成するようつとめる。

◆学校給食事業「地産地消給食」について

質問 地産地消給食は失われつつある旬の味覚を知り「ふるさと発見」にもつながる大切な食育である。25年度事業計画を聞く。

答弁 月2回程の「ふるさと発見ランチ」に加え桑名産食材を利用した「仮称くわなっこ給食の日」を予定している。



新桑会

飯田 尚人

◆桑名市総合医療センターについて

質問 救急車の100%受入と医師確保について伺う。

答弁 市消防本部管内の平成24年中の1年間の救急車搬送人員は7,800人であり、その内、市総合医療センターでは3,066人であり、全体の39.3%となっている。市総合医療センターで患者さんの症状や重症度等により、100%の受け入れは難しい状況にあるが、市内及び近隣医療機関との連携を図り、地域で二次医療が完結できるように救急医療体制の充実を図っていききたい。

医師確保については、三重大との緊密な連携を図りながら、医師派遣要請を行った上で、他大学へも医師の派遣要請を行っている。

また、産婦人科医並びに小児科医の医師確保に向けた取り組みを行っている。

希望

伊藤 研司

◆(仮称)乳幼児への「虐待防止宣言」制定に向けての取り組み状況について

質問 ネグレクト・虐待の加害者は、9割近くが実の母親・父親である。

乳幼児期にネグレクト・虐待を受けた子どもの中には、受難障害の症状が出たりする場合もある。

お腹を痛めて自らが生んだ子を、虐待せざるを得ない悲劇、さらに、最も愛されるべき母親・父親から虐待を受ける程、惨めで悲惨で人格を否定される出来事はない。

答弁 早急に「都市宣言」を行いたいとの思いを強く持ち、「要保護児童及びDV対策地域協議会」を開催するなど、関係機関との調整も行い、早い時期に議案として提出する準備を進めていきたいと思っている。

一般質問

新自由クラブ

水谷 義雄

◆1市2町の合併に対する市長の認識を問う

質問 新市建設計画と今後の総合支所のあり方について。

答弁 ・合併後8年が経過し、地域住民の皆様の声が届きにくくなったとか、総合庁舎が寂しくなったとの声が聞かれることがあるので、市長として積極的に地域に出向いて市民の声を伺う。

・新市建設計画に記載されている事業については、財政状況を勘案しながら、新市の一体感の醸成、地域格差の是正に寄与できる事業を精査して、取り組んでいく。

・総合支所については、地域審議会、自治会等の意見を頂きながら、地域の実情に合った住民サービスが出来るよう、努めるとともに、今後も地域の活性化に取り組んでいく。

フォーラム新桑名

愛敬 重之

◆安全・安心なまちづくりについて

質問 通学路での安全対策の実施状況と実施計画について。

答弁 土木課の進捗状況としては、59件の要望に対し、42件が対策済み。残りの17件について、来年度以降に一般財源による交通安全施設設置費において優先的に実施していく予定。情報提供として、道路の管理区分と管理機関、交通安全施設に関する現状をホームページ等に掲載できるように検討していきたいと思う。



◆活力ある産業の振興について

質問 現在実施されているマイクロ水力発電実証実験で商品化となった場合の利用について。

答弁 電力供給が行き届かない山間部などで、溪流等を利用した獣害対策の為に電気柵電源としての活用も提案している。



市民クラブ

松浦 祥子

◆小中学校連携教育について

質問 連携教育の現状は？英語教育での成果は？また「桑名市立小中学校の就学に関する規則」によってこの連携から除外される子どもさんについての手立ては？

答弁 中学校進学に伴う不安を取り除くため連携推進事業に積極的に取り組んでいる。英語教育にも成果を挙げている。少数で他の中学に進学する子どもさんには十分に配慮していく。

◆桑名市高齢者ふれあい入浴事業について

質問 この事業の現状は？深谷共同浴場と松ヶ島共同浴場で入浴券の方式が違うのはなぜか？

答弁 この事業は桑名市内に在住の70歳以上の方に深谷共同浴場か松ヶ島共同浴場に無料で入浴いただく事業で方式は合併前から同じである。

公明党桑名市議員団

畑 紀子

◆体罰について(いじめ問題も含めて)

質問 当市における体罰問題の実態と対策について、昨年のいじめ問題とあわせ、今後どのように取り組んでいくのか。

答弁 残念ながら体罰が確認され、大変重く受け止めている。即、体罰禁止の趣旨を徹底し、教職員の意識向上を図り、体罰と指導の違いの明確な線引きを確認した。今後は、体罰について教職員研修を継続し、恐怖心を植えつけるような指導でなく、子どもたちに目標を持たせ自主性を引き出す指導のあり方や適切な叱り方の研修を推進していく。いじめ問題に関する検討委員会は、今まで3回開催、いじめ対応について意見をまとめた。体罰やいじめは、子どもたちにとって深刻な問題。一人ひとりの居場所を保障し、安全安心な学校生活が送れるよう進めていく。

一般質問

希望

伊藤 恵一

◆上下水道2.9億円値上げ問題

質問 同額以上の負担軽減策は！？

答弁 市民サービス充実実感向上に努めて参りたい。

◆「桑名・世界一!!1,000万\$夜景プロジェクト」

質問 多度山頂へケーブルカーと温泉&おしゃれなグルメを。

答弁 民間資本とどのように連携して、まちづくりの観点で多度地区の活性化を行うのかを全庁的総合的に研究検討する必要がある、取り組みを始めている。

◆恐怖の「人工」放射能東北被災者支援策は

質問 見識と勇気ある自主的避難者のニーズ聞き取りを。

答弁 法に基づく支援策をネット上で情報提供している。

◆有機農業等支援と遺伝子組み換え種子導入阻止条例

質問 山形県高畠町が実現しているこれら施策の推進を。

答弁 市民農業塾で無農薬野菜栽培を実施。条例は未定。

日本共産党桑名市議員 石田 正子

◆雇用対策について(市内企業の動向から問う)

質問 ①市内企業の動向に対して桑名市の対応について。

②市の雇用促進の取り組みについて。

答弁 ①市長が富士通(株)本社に出向いて面談し、工場の存続と雇用の維持を要請した。②これまで緊急雇用事業等の実施や市内工業団地への企業誘致の推進と地域雇用の創出に努めている。

◆国民健康保険税の引き下げについて

質問 ①加入者負担軽減のために保険税の引き下げを。

②滞納者への対応(資格証明書等の発行)について。

答弁 ①高齢化や医療の高度化に伴い、一人当たりの医療費、介護サービスの利用拡大などで保険税水準が上昇しており、引き下げは困難である。②資格証明書・短期証の交付予告文書の発送や納税相談の実施に努めている。生活実態を把握して対応する。

市民クラブ

小川 満美

◆コミュニティバスをデマンド交通に

質問 多度北回り、南回りルートは、1日当たりの利用者が10人と少ないが、それぞれ1日4便しかないでこれ以上運行本数を減らすわけにはいかない。ルートの見直しでは根本的な解決にはならない。

①多度ルートについて、どう事業評価しているのか

②運行ダイヤの見直しで利用者が増えるのか

③多度ルートにデマンド交通を導入するのか

答弁 ①多度ルートは、1便あたり利用者数が2.1人で、1人1乗車あたりの市負担額は約1,390円である。何らかの対応が必要であると考えている。

②多度ルート沿線のすべての地域から大桑クリニックやピアゴ多度店に行けるように検討している。

③地域公共交通会議において導入自治体の事例を踏まえ、調査研究する。

新桑会

市野 善隆

◆桑名市の人事施策等から

質問 市長給与等について、市長の方針として自らの給与を20%削減することに対して一定の理解はするが、退職金の削減は示されていない。一方、職員の退職金を3年間で段階的に約17%削減する条例改正案が議案として示され、市長自らも同様に退職金を削減するのが、筋論から言えば本来の市長の姿ではないのか。

答弁 市長の退職金は「別のもの」と考えており反映させない。

再質問 市長の満額退職金は「102万8千円×4年×4.5」であり、職員は3年で約17%削減されるのに本当にいいのか。市長の言う「別のもの」とはなにか。

再答弁 「別のもの」と考えている。

桑名市議会からのお知らせ

6月定例会の開催日程

6月定例会が、6月12日(水)～7月2日(火)の21日間の予定で開催されます。

- 6月12日(水)
本会議(議案上程・提案説明)
- 6月18日(火)～24日(月)
本会議(代表質疑・議案質疑・一般質問)
- 6月25日(火)～27日(木)
常任委員会・特別委員会
- 7月2日(火)
本会議(委員長報告・討論・採決)

※6月18日(火)～24日(月)は、ケーブルテレビでもご覧になれます。

傍聴してみませんか

本会議や各常任委員会、特別委員会などの会議は傍聴できます。
日程は市議会のホームページに掲載します。ただし、日時が変更になる場合がありますので、傍聴する場合は、事前に議会事務局にご確認のうえ、お気軽にお越しください。



インターネット録画中継

より多くの方に本会議をご覧いただくために、インターネット録画中継を実施しています。
傍聴に来ることができない方でも、インターネットにより本会議(代表質疑・議案質疑・一般質問)の様子を録画中継で見ることができますので、ぜひご覧ください。



テレビ中継のお知らせ

本会議の議案質疑・一般質問をケーブルテレビで生放送します。ぜひご覧ください。

対象地区	チャンネル	放送時間
桑名地区	地上デジタル121ch	午前10時から
多度地区	地上デジタル122ch(サブチャンネル)	
長島地区	地上デジタル123ch(サブチャンネル)	

※サブチャンネルでご覧いただくには、リモコンの数字ボタン②を押し、チャンネル(選局)ボタンの上方向を1回または2回押して下さい。



議会活動状況報告

※定例議会中の定例議会にかかる会議は省略しています

2月

- 1日 議会改革検討会、全員協議会、新病院の整備等に関する特別委員会
- 4日 各派代表者会議
- 5日 常任委員長会議
- 6日 議会改革検討会、全国市議会議長会第94回評議員会
- 7日 東海市議会議長会理事会
- 8日 桑名・員弁広域連合議会臨時会、桑名広域清掃事業組合議会定例会
- 12日 北勢5市市長正副議長懇談会
- 14日 広報広聴委員会、各派代表者会議
- 15日 総務政策委員会・協議会、福祉安全委員会、教育経済委員会・協議会、建設水道委員会・協議会、常任委員長会議

- 18日 議会改革検討会、三重県後期高齢者医療広域連合議会定例会、桑名・員弁広域連合議会定例会
- 19日 全員協議会、議会報告会班別会議
- 20日 各派代表者会議、議会運営委員会
- 26日 広報広聴委員会、議会改革検討会
- 27日 3月定例会(開会3月22日)

- 12日 教育経済委員会
- 18日 東海市議会議長会理事会、東海市議会議長会定期総会
- 19日 議会報告会
- 23日 広報広聴委員会
- 24日 建設水道委員会・協議会
- 26日 議会改革検討会

3月

- 28日 議会報告会班長会議

4月

- 9日 福祉安全委員会
- 10日 建設水道委員会
- 11日 広報広聴委員会、総務政策委員会・協議会



広報広聴委員会
委員長 平野和
副委員長 愛敬重
委員 辻内裕也、
畑野明子、
市川善隆、
小野美穂、
伊藤一子、
石田正子、
岡村信子

今回の議会だよりから、議員の質疑・一般質問のコーナーをより読みやすくするため、6分の1から4分の1のスペースに変更しました。
今後も読みやすく親しみやすい市議会だよりを目指して、改善しながら発行していきたいと思っておりますので、応援よろしくお願いします。

編集後記

皆様のご意見をお寄せください

市議会や市議会だよりに対するご意見、ご要望等がございましたら、議会事務局までお寄せください。

桑名市議会事務局

〒511-8601 桑名市中央町二丁目37番地
電話:0594-24-1304/0594-24-1305
FAX:0594-24-1359
メールアドレス:gikaijm@city.kuwana.lg.jp